

摂食嚥下チーム

【活動目的】

病気や老化などの原因により、嚥んだり飲み込んだりすることが難しくなった状態を嚥下（えんげ）障害とといいます。食べ物や飲み物がうまく飲み込めないと、脱水症状、誤嚥性肺炎など生命にかかわる異常を引き起こすことがあります。当院の摂食嚥下チームは、摂食嚥下障害の診断から迅速な対応をおこない、状態を改善させることで患者様の食べる楽しみを支援することを目的に活動をおこなっています。

【構成メンバー】

チームの構成メンバーは 医師 3 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、言語聴覚士 1 名、看護師 1 名（摂食嚥下認定看護師）、理学療法士 1 名、医事職員 1 名で、患者様を各々の専門分野でサポートすべく体制を整えています。

【年間目標】

- ①摂食嚥下外来及び入院を継続して行い、また地域への広報を通してその定着と充実化を図る。
- ②摂食・嚥下ラウンドを実施し、検査対象患者を増加させる。また当該患者の検査結果を踏まえてカンファレンスを実施することで、より良い指導管理を目指す。

【年間計画】

- ①摂食嚥下外来・入院の運用を開始
 - ・運用開始後の評価とパスの修正を随時実施
 - ・地域活動や訪問活動を通して、積極的な広報を行う
- ②摂食嚥下支援を開始
 - ・摂食嚥下支援に関して、具体的な運用（対象者の絞り込み、検査及びカンファレンスの実施方法、実施時期等）を検討し、早期にチームによる支援を開始する。